

PBLガイドブック（高校版）Webサイト 実践事例報告書

1 学校名（岡山後楽館高等学校）

2 総合的な探究の時間の名称（総合的な探究の時間）

※総合的な探究の時間の実践例ではない場合は、教科・科目名等を記入してください。

3 実施学年（1・2・3年次）

4 事例の概要（いずれかに（複数でも可）に○をしたのち、その概要を記入してください。）

1 課題の設定		5 まとめ・表現	○
2 情報の収集		評価、進路指導に関するもの	
3 整理・分析		その他（ ）	
4 課題解決に向けた実践	○		

「総合的な探究の時間」代表者発表会

2年間かけて探究に取り組んできたことを3年次に最終発表として行い、その中から優秀な発表として選ばれた4グループが、岡山市民会館のステージで中学1年～高校3年の全校生徒を対象に研究成果を発表する。

5 ねらい

①聞く人を意識したプレゼンテーション（研究成果の発表）を行う（3年年次）

②プレゼンテーションを聞くことで、研究課題への取組方法や伝え方、表現の仕方などのような工夫があるのかを考える（1・2・3年次）

6 工夫点

自分たちが住んでいる地域（岡山市）の課題を取り上げ、フィールドワークやインタビュー、アンケート調査をおこなって、課題の解決に向け取り組んだ。自らの活動を聞き手側に端的にわかりやすく伝えるかを考え、実際に制作物を見せたり、動画や音声なども取り入れたりしながら、グループごとに工夫してプレゼンテーションを行った。

7 苦労した点（課題をどのように解決したか）

自らが設定した課題の解決に向け研究する中で、新たな課題が見つかり、また振り出しに戻って調査を行うなど、どのグループも解決に向けて試行錯誤の連続だったことが発表の中でうかがえた。

地域コーディネーターの助言や協力を得ながら、それぞれのグループのテーマに関連した地域社会の組織やNPOなどの大人とのつながりで、多くの学びや成果があった。

